

2019年度新任役員候補者一覧

任期は2021年度2月開催の定時社員総会終結時まで

理事

小野 晃(国研産業技術総合研究所)

1969年東京大学理学部物理学科卒業、74年東京大学大学院博士課程修了(理学博士)、同年工業技術院計量研究所入所。81～82年米国バドュー大学 熱物性研究所 客員研究員、2001年産業技術総合研究所(産総研)計測標準研究部門長、同所理事、副理事長を経て、12年産総研特別顧問。08年から12年まで産総研イノベーションスクール長を兼務。専門は計量標準・標準物質、ナノテクノロジー標準化、リモートセンシング。00～01年本会理事(会誌担当)。05年～国際標準化機構ISO/TC229ナノテクノロジー国内審議委員会委員長。日本学術会議第20期、21期連携会員。

伊藤 邦春(新日鐵住金(株))

1991年3月早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻修了、同年4月新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社、18年4月同社インテリジェントアルゴリズム研究センター所長。入社以来、研究部門にて鉄鋼生産プロセス制御技術開発、鉄鋼生産計画・スケジューリング技術開発を担当。日本鉄鋼協会計測・制御・システム工学部会を中心に講演発表、システムフォーラム幹事、研究会企業幹事等を担当。

山本 秀典(株)日立製作所

2001年東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻修士課程修了。同年(株)日立製作所入社。同社研究開発グループにて、ユビキタス情報システムや産業、電力、鉄道、スマートグリッドなどの情報制御システムを対象とした研究開発に従事。14年度関東地方発表明彰奨励賞受賞。16年度本会技術賞受賞。博士(工学)。SICE50周年記念事業イベント小委員会委員(10～11)。

大重 貴彦(JFE テクノリサーチ(株))

1991年東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了。同年4月日本鋼管(現JFEスチール(株))入社。2005年4月JFE技研(株)、09年4月JFEスチール(株)、18年4月JFEテクノリサーチ(株)、現在に至る。主に光学センサ・温度計の開発に従事。03年全国発表明彰奨励賞、14年度本会計測部門論文賞、18年度本会論文賞・蓮沼賞受賞。日本鉄鋼協会の会員。温度計測部会運営委員、幹事、副主査、主査等を歴任。1998～2002年日本学術振興会産業計測第36委員会温度計測分科会委員、幹事等。

新妻 実保子(中央大学)

2007年東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻博士課程修了。博士(工学)。07～09年日本学術振興会特別研究員。09年4月中央大学理工学部精密機械工学科助教、13年4月同准教授、16年3月～17年3月コロンビア大学にて在外研究に従事。現在に至る。空間知能化、人ロボットインタラクションの研究に従事。08年本会論文賞受賞。日本機械学会、日本ロボット学会、IEEEなどの会員。11～13年誌編集委員会委員、13～15年同学会SI部門運営委員会幹事、同部門空間知能部会委員。15年よりIEEE Medal for Environmental and Safety Technologies Committee 委員。15年よりIEEE/SICE International Symposium on System Integration、Steering Committee 幹事。

石川 将人(大阪大学)

1994年東京工業大学工学部制御工学科卒業、2000年同大学院情報理工学研究科博士後期課程修了、博士(工学)。同大学助手、東京大学助手、京都大学講師、大阪大学准教授を経て、14年より同大学院工学研究科機械工学専攻教授。非線形制御、非ホロノミックシステム、移動ロボットなどの研究に従事。システム制御情報学会、日本ロボット学会、日本機械学会、電子情報通信学会、IEEEの会員。

金子 修(電気通信大学)

1994年4月長岡技術科学大学修士課程修了、同年石川島システムテクノロジー(株)入社、99年3月大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程単位認定退学、同年4月同大学院基礎工学研究科助手、2007年4月同助教、09年4月金沢大学理工研究域准教授、15年10月電気通信大学情報理工学研究科教授、現在に至る。博士(工学)。システム制御の理論と応用の研究に従事。08年システム制御情報学会論文賞・砂原賞、12年本会論文賞、15年同制御部門パイオニア技術賞など受賞。データ駆動制御などの研究に従事。14年第57回自動制御連合講演会プログラム委員長、17年第60回同実行委員長など。

三浦 眞由美(アズビル(株))

1988年3月千葉大学工学部電子工学科卒業、90年3月同大学大学院修士課程修了。同年4月山武ハネウエル(株)(現アズビル(株))入社。デバイス開発、遠隔データ自動収集システム開発、温度調節技術開発を経て、現在、同社技術開発本部にて空調制御技術開発に従事。空気調和・衛生工学会、ASHRAE(技術委員会TC2、1、TC7、5所属)、日本建築学会、電気学会会員、IEA EBC Annex62 委員(2013/11～2018/3)。知的生産性コンソシアム スマートウェルネスオフィス委員会委員。人の快適性/知的生産性と空調制御に関する研究開発に従事。

長谷川 正美(富士電機(株))

1984年富士電機(株)入社、水処理制御、計測制御、監視制御システム企画等に従事。現在に至る。2011年安全計装システムに関わるTUVラインランドの認定エンジニア。産業応用部門計測・制御ネットワーク部会幹事・主査、会誌編集委員、SICE2009 OS Organizer を歴任。SICE「安全のための計測・制御・システムを考える会」所属。JEMIMA「機能安全調査研究WG」主査を歴任。日本信頼性学会「要素技術安全研究会」、IEC国内委員会(MT61508、MT61511、他)、JIS 原案作成委員会等。

山本 大介(株)東芝

2000年早稲田大学大学院理工学研究科機械工学専攻修士課程修了。同年(株)東芝入社。(独)情報通信研究機構主任(2004～05)、内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付(2014～15)を経て、現在、(株)東芝研究開発センター機械・システムラボラトリー主任研究員。主に移動ロボット、コミュニケーションロボット、介護ロボット等の研究開発に従事。博士(工学)。Annual Conference 委員会幹事(2011～12)、会誌出版委員(SI部門運営委員会誌編集担当)(2014～15)。日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門技術委員、同ロードマップ委員、同ロードマップ委員長、同運営委員。日本ロボット学会事業計画委員、会誌編集委員、次世代構想委員、代議員等。

鈴木 高宏(東北大学)

1998年東京大学工学系研究科博士課程を修了後、同大生産技術研究科講師、2000年助教の後、04年同大情報学環に移り、学際的にロボット・ITS(高度交通システム)など先端技術のプロジェクト・社会実装に取組む。10年から3年間、長崎県産業労働部政策監[EV&ITS 推進担当](幹部職員)に出向し、EV(電気自動車)とITSによる離島地域の活性化プロジェクトを推進。13年東

京大学に復帰後、14年から東北大学に移り現職。14～16年副センター長兼務、17年からセンター長補佐。この他、長崎総合科学大学客員教授、電気自動車普及協会(APEV)理事など。専門はロボティクス、非線形制御、ITSのほか、科学技術コミュニケーションにも関心を持ち、近年は次世代モビリティ普及と先端技術社会実装による地域活性化に取り組んでいる。日本機械学会、日本ロボット学会、自動車技術会、IEEE、ITS Japan、研究・イノベーション学会など会員。

Sehoon OH(DGIST)

Sehoon Oh received the B.S., M.S., and Ph.D. degrees in electrical engineering from The University of Tokyo, Tokyo, Japan, in 1998, 2000, and 2005, respectively. He was a project research associate at The University of Tokyo until 2012, a Visiting Researcher at the University of Texas at Austin from 2010 to 2011, a Senior Researcher at the Samsung Heavy Industries, and a Research Professor in the Department of Mechanical Engineering, Sogang University, South Korea. His research interests include the development of human-friendly motion control algorithms and assistive devices for people. Dr. Oh received the Best Transactions Paper Award from the IEEE TRANSACTIONS ON INDUSTRIAL ELECTRONICS in 2013.

監事

山中 修(東芝インフラシステムズ(株))

1992年慶應義塾大学理工学部電気工学科卒業、97年同大学電気工学専攻博士課程修了、博士(工学)。同年(株)東芝入社。主として、公共・社会システムの監視制御技術の研究開発に従事。現在、東芝インフラシステムズ(株)インフラシステム技術開発センター システム制御・ネットワーク開発部 水・環境ソリューション技術開発担当。電気学会、環境システム計測制御学会などの会員。

田中 孝之(北海道大学)

1996年3月電気通信大学大学院博士前期課程修了、同年4月電気通信大学機械制御工学科助手、2003年4月電気通信大学知能機械工学科 助教授、04年4月北海道大学大学院情報科学研究科助教授(現准教授)、現在に至る。ロボット工学(ウェアラブルロボット、フィールドロボットなど)を専門とし、北海道科学技術奨励賞、北海道大学奨励賞などを受賞。日本機械学会フェロー、日本ロボット学会フェロー、IEEE会員などとして活動。本会理事、日本ロボット学会理事等を歴任。